

平成 28 年 4 月 12 日

長崎県立大学地域連携センター	
担 当	企画広報課企画広報グループ 政野、石井
電 話	0956-47-5856 (直通)
メー ル	<a href="mailto:kikaku@sun.ac.jp">kikaku@sun.ac.jp</a>

## 長崎県立大学春の公開講座の開催について (ご案内)

本学では、県民の皆様に学習の機会を提供し、地域における生涯教育の振興に貢献することを目的として、公開講座を開催します。

この講座は、全 7 回 14 講座を開講し、全ての講座は佐世保校・シーボルト校の両キャンパスをインターネット回線で結んで実施いたします。また、5 月 21 日、7 月 9 日の回は新上五島町鯨賓館活動支援室にも中継しますので、お近くの会場でお越しください。

詳細については、別紙チラシに掲載しておりますのでご参照ください。

記

### 長崎県立大学春の公開講座

開 催 日：平成 28 年 4 月 23 日 (土) ～7 月 9 日 (土) の土曜日 13:30～15:40  
7 回 14 講座 (4 月 30 日、5 月 7 日、28 日、6 月 11 日、18 日は除く。)

講師・演題：チラシのとおり

対 象 者：どなたでも参加できます

受 講 料：無料

申 込 み：不要

※詳細はチラシをご覧ください。

平成28年度

春開講

長崎県立大学

# 公開講座

参加無料/申込不要  
どなたでも参加できます

土曜日開催  
13:30~15:40  
(1講座60分)

【主催】  
長崎県立大学

【後援】  
長崎県教育委員会  
佐世保市・長与町・新上五島町

会場

## 佐世保校

新館講義棟1階504教室  
(7/2のみ2階505教室)  
佐世保市川下町123

P  
無料



## シーボルト校

中央棟1階M103講義室  
西彼杵郡長与町まなび野1-1-1



## 新上五島町

鯨賓館活動支援室  
南松浦郡新上五島町有川郷578-36

遠隔会場には主会場からテレビ授業システムにより映像を配信します。

本学の様々な情報はWEBでご覧いただけます。

ホームページ



Facebook



4/23<sup>土</sup>

【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校

社会保障と福祉財政  
～スウェーデンの調査研究をベースに～

講師 楊 光洙 教授 13:30~

韓国農業と緑茶  
～緑茶を通してみる日韓の違い～

講師 田村 善弘 准教授 14:40~

5/14<sup>土</sup>

【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校

日米関係～在日米軍を中心に～

講師 瀬端 孝夫 教授 13:30~

ヨーロッパの難民問題と中・東欧  
～「鉄のカーテン」からシェンゲンへ～

講師 荻野 晃 教授 14:40~

5/21<sup>土</sup>

【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校  
新上五島町

統計データでみる長崎県の地域経済  
～長崎県はどのような地域でしょうか？～

講師 吉本 諭 准教授 13:30~

地方創生に関する施策とその要点について

講師 奥山 忠裕 准教授 14:40~

6/4<sup>土</sup>

【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校

角の二等分と三等分法  
～中学生に戻って作図を楽しみましょう～

講師 永野 哲也 教授 13:30~

地域に根づかせたい、  
共感と癒しの「紙芝居文化」

講師 柳田 多間 准教授 14:40~

6/25<sup>土</sup>

【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校

ヒトゲノムからみた  
一人ひとり異なる養生の考え方

講師 四童子 好廣 教授 13:30~

食生活を改善するためのアイデア  
～食行動科学から考える～

講師 石見 百江 講師 14:40~

7/2<sup>土</sup>

【主会場】佐世保校  
【遠隔会場】シーボルト校

『下町ロケット』を通して会計に触れる

講師 竹田 範義 教授 13:30~

近くて遠い国フィリピン

講師 舟橋 豊子 講師 14:40~

7/9<sup>土</sup>

【主会場】シーボルト校  
【遠隔会場】佐世保校  
新上五島町

隔離政策のなかで暮らした  
ハンセン病回復者の語りから学ぶもの

講師 河口 朝子 教授 13:30~

看護の仕事 これまで、今とこれから

講師 山澄 直美 准教授 14:40~

お問合せ



長崎県立大学  
UNIVERSITY OF NAGASAKI

佐世保校 TEL/0956-47-5856  
シーボルト校 TEL/095-813-5500

4/ 23 土

[主会場] 佐世保校  
[遠隔会場] シーボルト校

## 社会保障と福祉財政～スウェーデンの調査研究をベースに～ 講師 楊 光洙 教授 13:30～

すでに少子高齢化の現象を経験し、福祉国家としてよく知られているスウェーデンは、どのような理念の下で、どのような社会保障制度で、どのような福祉サービスを提供しているのか、またその財源はどこから調達しているのかなどについて紹介します。このスウェーデンの経験より、日本の少子高齢化と社会保障の問題を考えます。

## 韓国農業と緑茶～緑茶を通してみる日韓の違い～ 講師 田村 善弘 准教授 14:40～

日本では、お茶といえば緑茶であるように、日常的に飲用されています。しかし、韓国では茶＝緑茶ではありません。本講座では韓国農業における緑茶の現状をみていきます。特に、産地の動向をしつつ、日本とは異なる韓国の緑茶を取り巻く環境についてお話しします。

5/ 14 土

[主会場] シーボルト校  
[遠隔会場] 佐世保校

## 日米関係～在日米軍を中心に～ 講師 瀬端 孝夫 教授 13:30～

在日米軍は、日本に70年以上います。日本政府やアメリカ政府は、在日米軍は日本を守っているといっていますが、本当でしょうか。皆さんは、在日米軍が毎日平均10件の犯罪や事故を引き起こしているのをご存知でしょうか。しかも、日本政府はそのような在日米軍に米兵1人当たり、年間1400万円から1600万円のお金を払っています。本講座では、在日米軍の問題点を明らかにします。

## ヨーロッパの難民問題と中・東欧～「鉄のカーテン」からシェンゲンへ～ 講師 荻野 晃 教授 14:40～

近年、中東から西欧へ難民の流入が続いています。経由地の中・東欧では、収容能力を越える難民の入国に不満が高まりました。とりわけ、かつてヒトの移動の自由を保証することで冷戦の終結に重要な役割を果たしたハンガリーは、難民に厳しい態度でのぞみました。EU域内でヒトの移動の自由を謳ったシェンゲン協定は、難民流入で危機的な状況にあります。ヒトの移動とはいかなるものが、冷戦から現在の難民問題まで中・東欧に焦点をあてて考えます。

5/ 21 土

[主会場] 佐世保校  
[遠隔会場] シーボルト校  
新上五島町

## 統計データでみる長崎県の地域経済～長崎県はどのような地域でしょうか?～ 講師 吉本 諭 准教授 13:30～

私たちが住んでいる長崎県は一つの地域です。私たちが暮らす長崎県はどのような地域でしょうか?地域経済という視点から、客観的な指標である統計データにもとづき、長崎県の現状と特徴についてお話しします。

## 地方創生に関する施策とその要点について 講師 奥山 忠裕 准教授 14:40～

現在、全国各地で地方活性化を目指した地方創生関連事業の計画が推進されています。これらの施策の主眼は、各地域の雇用拡大、人口増加にあるとともに、地域独自の施策の提案、それら施策の持続性も求められ、これまでの公共施策とは大きく異なった様相をもっています。本講座では、それら施策の要点を解説するとともに、施策に関する事例を紹介します。

6/ 4 土

[主会場] シーボルト校  
[遠隔会場] 佐世保校

## 角の二等分と三等分法～中学生に戻って作図を楽しみましょう～ 講師 永野 哲也 教授 13:30～

定規とコンパスを使って角を二等分する方法と更にもう一つ“ある操作”を加えて三等分する方法をお話しします。特に、角の三等分は古代からの数学上の未解決問題の一つでした。本講座では、実際に、定規とコンパスを使って作図してみます。定規とコンパスをご準備ください。

## 地域に根づかせたい、共感と癒しの「紙芝居文化」 講師 柳田 多間 准教授 14:40～

紙芝居は、昭和の初めに生まれた日本独自の文化です。戦前・戦中・戦後と、歴史が大きく動く中で、紙芝居に求められる役割も大きく変わってきました。平成の現代における意義を問い直すとき、紙芝居が持つコミュニケーションの力に注目が集まり、さまざまな方面から大きな期待が寄せられています。大人も子ども、赤ちゃんとお年寄りまで誰もが、家庭で地域で、紙芝居を観ることを楽しむ文化へと育てていきましょう。

6/ 25 土

[主会場] シーボルト校  
[遠隔会場] 佐世保校

## ヒトゲノムからみた一人ひとり異なる養生の考え方 講師 四童子 好廣 教授 13:30～

アメリカを中心にした国際協力によるヒトゲノム計画が終了して10数年の年月が流れました。その後の研究成果は驚くべきもので、皆さんの生活は、皆さんの体の中に潜むこのヒトゲノムという不思議な実体が牛耳っているのかもしれない。本学に来て15年間、このヒトゲノムと私たち一人ひとりの生活について考え、研究してきました。ヒトゲノムが皆さんの生き方にどのように関与するのか、その一端を、研究結果を交えながらご紹介します。

## 食生活を改善するためのアイデア～食行動科学から考える～ 講師 石見 百江 講師 14:40～

食や栄養に関する様々な情報が毎日のように発信されています。その一方で「人々の食生活や健康状態が改善した!」という情報はあまり聞かえてきません。栄養に関する知識があるにもかかわらず、より良い行動に結びつかないのはなぜか?行動科学や食行動学として人々をとりまく環境について理解し、行動変容へつながる方法を一緒に考えましょう。

7/ 2 土

[主会場] 佐世保校  
[遠隔会場] シーボルト校

## 『下町ロケット』を通して会計に触れる 講師 竹田 範義 教授 13:30～

昨年「下町ロケット」という中小企業(町工場)を舞台にしたテレビドラマが放送され、注目されました。その『下町ロケット』という小説(ドラマ)の中で展開されている事柄のなかから、会計の立場から着目したことについて紹介し、そこでの会計関連項目についてお話しします。

## 近くて遠い国フィリピン 講師 舟橋 豊子 講師 14:40～

日本から飛行機でたった3時間半のところにある島国フィリピン!地理的に近いにも関わらず、実態は案外、知られていないのではないのでしょうか。本講座では、フィリピンの暮らしや経済、歴史などについてご紹介します。そして、フィリピンと対比しながら、日本の現状についても改めて考えます。

7/ 9 土

[主会場] シーボルト校  
[遠隔会場] 佐世保校  
新上五島町

## 隔離政策のなかで暮らしたハンセン病回復者の語りから学ぶもの 講師 河口 朝子 教授 13:30～

ハンセン病者はらい予防法の基で強制収容を余儀なくされ、地域社会から偏見差別をうけ、かつては遺伝病や伝染病と恐れられました。しかし慢性的な感染症であり、らい菌の感染力は極めて弱い。ここでは、ハンセン病回復者が受けた差別、苦悩の語りと差別・偏見を乗り越え生き生き活動されている退所者をご紹介します。彼らの生き方の語りは、現在社会が抱える問題(認知症者への偏見・子どものいじめ)解決に通じるものがあると考えます。

## 看護の仕事 これまで、今とこれから 講師 山澄 直美 准教授 14:40～

医療提供のあり方は、「病院、施設から地域・在宅へ」と変化しています。30年前と比べ、看護職が果たしていくべき役割は変化し、今後はさらに変化していくことが予想されます。保健医療の現場で、最も多数を占め、最も皆さんの近くにいる看護職が、今、どのようなことをしているのか、また、その基礎となる看護職の教育がどのように変化しているのかについてお話しします。